

## 福岡市スケート連盟

### 【設立年月日】

1962（昭37）年

### 【加盟年月日】

1965（昭40）年

### 【歴代会長】

2011（平23）年 入江 浩幸

2017（平29）年 開地 龍太郎

2019（令元）年 嶋山 一仁

2020（令2）年 泉原 博行

### 【沿革】

昭和37年に連盟設立後、フィギュア、スピード、ホッケーそれぞれの部門で、市民スポーツとして、多世代型の活動を進めるとともに選手の育成にも取り組んできました。この10年間でもフィギュアにおいて福岡から、全日本という大きな舞台で戦える選手が増えてきています。

竹野比奈（福岡大学大学院）竹野仁奈（筑紫女学園大学）が姉妹揃って令和2年の青森国体で並み居る強豪をおさえて優勝という素晴らしい成績を収めました。ジュニア世代、ノービス世代の選手たちもトップ選手に続いていこうと必死に日々の練習に取り組んでおり、今後の成長が楽しみです。



スピードスケートにおいても、ジュニア選手の育成強化の体制が確立され、日本代表として世界で戦える選手を多く輩出することができています。2018（平30）年の世界ジュニア選手権大会では井上瑠汰（当時:沖学園高校）が日本代表として出場し、5000mリレーで見事に優勝を果たし世界一に輝きました。その他にも世界ジュニア選手権大会には、2018（平30）年井上瑠汰、横山世奈、2020（令2）年高橋花菜が日本代表として出場を果たしています。



アイスホッケー競技においてもジュニア、高校生、大学生、社会人、女子といった各チームでの活動が進んでおり、市民リーグ戦は50回を超える伝統ある大会となっています。福岡でジュニアからホッケーを始め、現在ではアジアリーグで活躍する選手も出てきています。

### 【現在の活動】

各競技種目別大会の開催、初心者スケート教室、高校等へのスケート指導など、スケートの普及にも努めています。

#### ■本連盟主催の大会・教室

- ・福岡市フィギュアスケート競技会
- ・福岡市民スピードスケート競技会
- ・アイスホッケー福岡市民リーグ戦
- ・福岡市アイスホッケー戦  
ジュニア・レディス親善大会
- ・初心者スケート教室
- ・夏休みスケート教室